

東中病診連携室だより



平成17年 5月 No, 11

東北中央病院ホ - ムペ - ジ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

東北中央病院長 堀川秀男

《マルチスライスCT装置アクイリオン16が本格稼動》



新型CTが導入されました。東芝メディカル社製「16列マルチスライスCT装置アクイリオン16」が、5月9日より本格稼動しました。

このマルチスライスCTとは、従来のCTでは1回転につき1断面の撮影しかできませんでしたが、このCT装置は、1回転につき16枚の断面を撮影することができます。また、1回転の撮影時間も従来の1秒から最短0.4秒と高速化され、最高で1秒につき20枚の断面を撮影することができます。

マルチスライスCTの利点として、

広範囲を撮影できる。

1度に複数の臓器の検査が可能です。

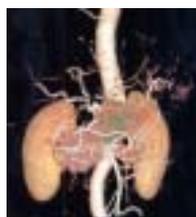
短時間で撮影できる。

高齢者など息を止めることが困難な患者さまでも比較的楽に検査ができます。

また、高速に撮影ができるため心臓も検査対象になってきています。

より細かく撮影できる。

従来は、簡単に全体を撮影した後更に詳しい撮影をするといった撮影方法を行ってしまいましたが、最初からより細かく撮影が可能のため被曝の低減にも繋がっています。それに加え今回導入されたCTには、体格に合わせ無駄な放射線を照射しない機能を搭載しています。被曝の低減により、人にやさしい検査を提供することができます。



撮影したデータを有効利用するために画像処理用ワークステーションも併せて導入しました。3次元画像、MIP(最大値投影法)、MPR(任意断面)などの作成も可能です。

ご不明な点がございましたら、お気軽に放射線科までお問い合わせください。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

山形市和合町3丁目2番5号

公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室

電話(フリーダイヤル): 0120-703-995

FAX(フリーダイヤル): 0120-168-990